

第10期中間

事業活動のご報告

(2017年1月1日～2017年6月30日)

大塚ホールディングス株式会社

証券コード 4578



大塚製薬㈱佐賀工場(佐賀県神埼郡吉野ヶ里町)。美しい水と緑に囲まれ、近隣には古代吉野ヶ里遺跡がある、自然環境と文化に恵まれた敷地でボカリスエット、カロリーメイトゼリー、医薬品を製造しています。同敷地内の佐賀栄養製品研究所では「運動と栄養」をテーマに「ニュートラシューティカルズ」を形にする研究開発を行っています。

※nutrition(栄養)+pharmaceuticals(医薬品)の造語

<https://www.otsuka.com/>

関連情報をウェブサイトに掲載しています

財務情報や株式情報など、より詳しい情報をウェブサイトに掲載しております。ぜひご覧ください。



ベンチャースピリッツにあふれた 大塚らしい新しい時代への挑戦

代表取締役社長 兼 CEO

樋口 達夫



株主の皆様には、平素より格別のご支援・ご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。

現在、世界では様々な変化が生じており、テクノロジーの分野では、人工知能を代表とする技術革新によるあらゆる情報のデジタル化で、膨大な情報は分析されネットワーク化されています。一方、地域経済（ジオエコノミクス）では、個々の国別の取り組み政策を打ち出し始めています。

大塚グループの事業領域であるヘルスケアにおいても、これらを踏まえ、将来の超高齢社会へ対応するべく大きな変革がもたらされようとしており、膨大な健康・医療情報を活用し、健康の維持・増進、治療効果向上に結びつける取り組みも始めています。

このような環境の中、大塚グループは先人から脈々と受け継いでいる、常に挑戦者としてのベンチャースピリッツにあふれた、ぶれることのない企業理念を軸に事業に取り組み、「日々の健康維持・増進」から「疾病の治療」までを目指した「トータルヘルスケア」の考えのもと、革新的かつ創造的な製品により人々の健康に貢献し、世界の激流を渡って前進していく所存です。

さて、当社グループの事業に目を向けますと、現在は2014～

2018年度の5カ年を対象期間とする第二次中期経営計画の仕上げの時期に入っています。医療関連事業では、今後の成長ドライバーである自社創薬品が、各国において計画通りの成果をあげています。さらに、同事業においては持続的成長に向けた積極的な投資により成長機会の拡大に取り組み、従来の戦略をさらに深化させています。また、ニュートラシューティカルズ関連事業においては、消費者が気付いていないニーズに対する新製品の提案やグローバル展開を加速させており、盤石な経営基盤の構築に努めています。

当社グループは、これからも“Otsuka-people creating new products for better health worldwide”の企業理念のもと、大塚らしい独創的な提案によって、人々の「健康でありたい」という普遍的な願いに貢献してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

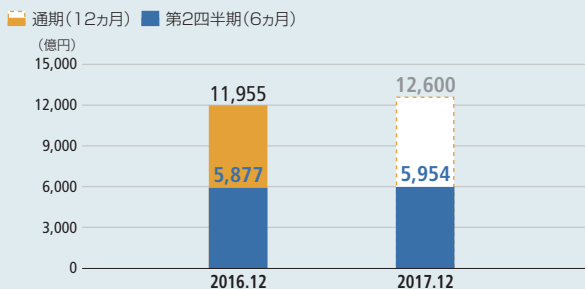
Financial Highlights

連結財務ハイライト(第2四半期累計)

当社は国際財務報告基準(IFRS)を適用しています。

売上高

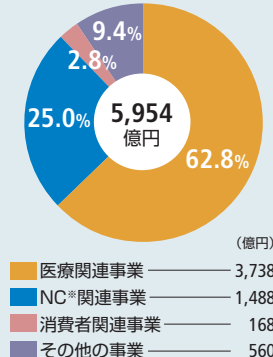
5,954億円 [1.3%増(前年同期比)]



「エビリファイ」は欧米での独占販売期間の満了により、売上高が220億円減少しましたが、「エビリファイメンテナ」、「レキサルティ」、「サムスカ/ジンアーク」といったグローバル3製品に「ロンサーフ」と「国内新薬」を加えた新製品群が大幅に売上を伸ばした結果、連結売上高は5,954億円(前年同期比1.3%増)となりました。

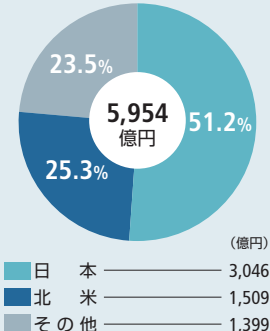
事業セグメント別売上高

外部顧客に対する売上高



市場別売上高

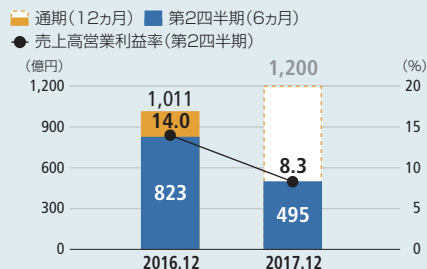
外部顧客に対する売上高



* ニュートラシューティカルズ=nutrition(栄養)+pharmaceuticals(医薬品)の造語

営業利益

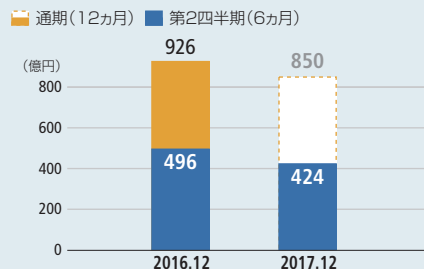
495億円 [39.8%減(前年同期比)]



売上高の増加に伴い売上総利益が増加しましたが、「オンゼトラ・エクセル」の販売権に関する減損損失の計上(231億円)及び研究開発費の増加の結果、営業利益は495億円(前年同期比39.8%減)となりました。

親会社の所有者に帰属する四半期利益

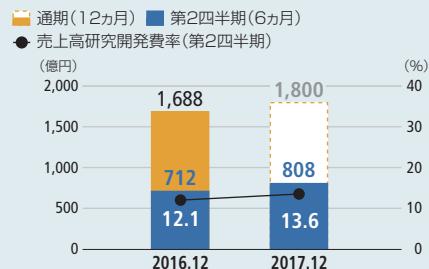
424億円 [14.5%減(前年同期比)]



税引前四半期利益は484億円(前年同期比27.2%減)となり、親会社の所有者に帰属する四半期利益は424億円(前年同期比14.5%減)となりました。基本的1株当たり四半期利益は、78.29円となっています。

研究開発費

808億円 [13.5%増(前年同期比)]



当期はSGI-110やAVP-786の開発が進捗したこと等により研究開発費は808億円(前年同期比13.5%増)となりました。

配当金

当期における中間配当金は、1株当たり50円とさせていただきます。

当期の年間配当金につきましては、中間配当金を含め、1株当たり100円(うち期末配当金50円)を予定しています。

詳しい内容は、ウェブサイトをご覧ください

<https://www.otsuka.com/jp/ir/>

Segment Information

セグメント別概況



医療関連事業

Pharmaceutical Segment

精神・神経領域では、抗精神病薬持続性注射剤「エビリファイメンテナ」*1の売上がグローバルで増加しました。また、新規抗精神病薬「レキサルティ」は2015年に米国で発売以降、統合失調症と大うつ病補助療法の2つの適応症で処方数が伸長し、売上は大幅に増加しています。抗てんかん剤「イーケブラ」は、日本でユーシービー・ジャパンとコ・プロモーションを展開し、高い有効性と安全性、使いやすさが専門医の評価を得て、処方数が順調に伸長しています。また、米国アバニア社の「ニューデクスタ」は、世界初で唯一の情動調節障害の治療剤としての評価が浸透し、売上は順調に増加しました。

がん・がんサポーターケア領域では、抗悪性腫瘍剤「ロンサーフ」は、米国では前年同期比で減少しましたが、日本においては治療切除不能な進行・再発の大腸がんに対する標準療法の一つとしての位置づけを確立、また、欧州の販売国も増加しています。

循環器・腎領域では、グローバル展開する経口利尿薬「サムスカ」が順調に売上を拡大、また「サムスカ/ジンアーク」*2は、腎臓の難病である常染色体優性多発性のう胞腎(ADPKD)に対する世界で初めての治療薬として成長しています。

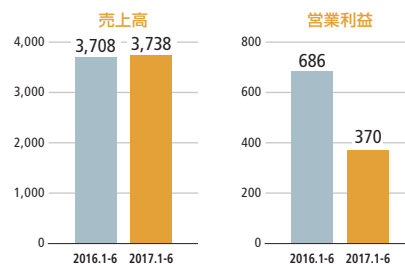
なお、当期は米国アバニア社の片頭痛治療薬「オンゼトラ・エクセル」の販売権に関する減損損失231億円を計上したため、医療関連事業の営業利益は370億円となりました。

*1：日本での製品名「エビリファイ持続性水懸筋注用」

*2：日本での製品名「サムスカ」、海外での製品名「シンアーク(JINARCO)」



業績推移 (億円) ■ 第2四半期(6ヵ月)



事業セグメントの「業績推移」の金額はセグメント間の内部売上高が含まれています。

TOPICS

ADHD治療薬を開発中の 米国ニューロバンス社を買収

大塚製薬は2017年3月、米国ニューロバンス社の買収契約を締結しました。ニューロバンス社は、不注意(散漫性、物忘れ)、多動性・衝動性(そわそわする、落ち着きのなさ)を特徴とする発達障害である注意欠陥・多動性障害(ADHD)の成人と小児の治療薬「セントナファジン(EB-1020)」を開発中です。

片頭痛予防薬の ライセンス契約締結

大塚製薬は、イスラエルのテバファーマスーティカル・インダストリー社が片頭痛予防薬としてグローバルで開発中の片頭痛予防薬「フレマズマブ(TEV-48125)」の国内における開発及び販売に係る独占的ライセンス契約を2017年5月に締結しました。

重点領域の一つである精神・神経領域における製品ポートフォリオの強化により、さらなる成長をはかっていきます。

開発品の状況

当期における当社グループの研究開発費は808億円です。

うち、医療関連事業における研究開発費は760億円、ニュートラシューティカルズ関連事業においては25億円、消費者関連事業においては3億円、その他の事業においては20億円です。

開発品目一覧 | 2017年6月末現在で第Ⅲ相臨床試験段階(フェーズⅢ)以降にある開発品目を以下に示します。

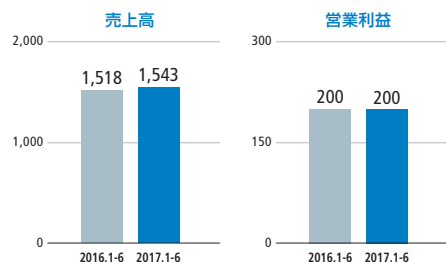
領域	開発コード「製品名」 (一般名)	効能/剤型	開発段階					
			日本		米国		欧州	
			フェーズⅢ	申請中	フェーズⅢ	申請中	フェーズⅢ	申請中
精神・神経 領域	「エビリファイメンテナ」 (アリピプラゾール)	双極性障害/持続性注射剤				●		
	ASC-01 (アリピプラゾール・セルトラリン)	大うつ病/経口剤	●					
	「レキサルティ」 (プレクスピプラゾール)	大うつ病/経口剤					●	
		統合失調症/経口剤		●				●
		アルツハイマー型認知症に伴うアジテーション/ 経口剤			●		●	
	Lu AA36143 (ナルメフェン)	アルコール依存症/経口剤	●					
AVP-786 (重水素化デキストロメトルファン・キニジン)	アルツハイマー型認知症に伴うアジテーション/ 経口剤			●		●		
がん・がん サポーター ケア 領域	「ロンサーフ」 (トリフルリジン・チピラシル)	胃がん/経口剤	●		●		●	
	TAS-118 (テガフル・ギメラシル・オテラシル・ホリナート)	胃がん/経口剤	●					
	SGI-110 (グアデシタピン)	急性骨髄性白血病/注射剤	●		●		●	
		骨髄異形成症候群/注射剤	●		●		●	
循環器・腎 領域	「サムスカ/ジンアーク」 (トルバプタン)	常染色体優性多発性のう胞腎/経口剤			●			
		抗利尿ホルモン不適合分泌症候群/経口剤	●					
	AKB-6548 (バダデュスタット)	腎性貧血/経口剤			●		●	
その他 領域	「ムコスタ点眼液」 (レバミピド)	ドライアイ/点眼剤(マルチドーズ)	●					
	「デルティバ」 (テラマニド)	多剤耐性肺結核/経口剤			●			
	OPF-105 (糖・電解質・アミノ酸・脂肪・総合ビタミン)	末梢静脈栄養輸液/注射剤	●					

Segment Information

セグメント別概況



業績推移 (億円) ■ 第2四半期(6ヵ月)



事業セグメントの「業績推移」の金額はセグメント間の内部売上高が含まれています。



ニュートラシューティカルズ関連事業

Nutraceutical Segment

水分・電解質補給飲料「ポカリスエット」は、日本におけるスポーツ飲料市場の低迷^{*1}の影響を受け、販売数量が減少しましたが、水分補給や熱中症対策等の消費者育成活動によりシェアは拡大しています^{*2}。一方海外に目を向けますと、中国では販路の拡大や製品認知度の上昇に伴い販売数量が増加しましたが、インドネシアにおける天候不順や景気後退等の影響を受け、海外全体の販売数量は前年同期比で減少しました。

炭酸栄養ドリンク「オロナミンC」は、積極的なコミュニケーション活動が奏功し、順調に推移しています。

「カロリーメイト」ブランドでは、2016年5月にラインアップを拡充し、バランス栄養食の新しい形態としての製品価値が浸透した「カロリーメイト ゼリー」の販売数量が増加しました。

米国ファーマバイト社のサプリメント「ネイチャーメイド」は、米国市場の拡大傾向^{*3}も相まって売上が増加、また欧州ではニュートリション エ サンテ社が展開する「ジェルプレ」等の栄養・健康食品におけるグルテンフリー製品やミートフリー製品が成長を牽引し、売上が増加しました。

※1：インテージSRI 2017/1-6 -8.4% 無断転載禁止

※2：インテージSRI 2017/1-6 +0.6% 無断転載禁止

※3：©2017, The Nielsen Company, 米国xAOCチャンネル2017/6 +2.8% 無断転載禁止

TOPICS

「賢者の快眠 睡眠リズムサポート」 テスト販売開始

大塚製薬は、就寝・起床リズムを整えることで、睡眠の質を高めること(スッキリした目覚め感)をサポートする機能性表示食品「賢者の快眠 睡眠リズムサポート」のテスト販売を、同社の通信販売「オオツカ・プラスワン」と関東エリアの一部店舗で5月29日より開始しました。本製品は、就寝・起床リズムの改善が期待される成分「アスパラガス由来含プロリン-3-アルキルジケトピペラジン」^{*4}に着目し、これを機能性関与成分とする製品として開発したものです。

製品特長

- 睡眠の質を高める
- スッキリした目覚め感をサポートする
- 就寝・起床リズムを整える
- 休日明けも穏やかな気持ちでスタートできる
- 睡眠の途中で起きてしまうことを和らげる
- すばやく美味しく飲み切れるサイズ

内容量 21g (3g×7包) / 90g (3g×30包)

希望小売価格 7包 1,280円 / 30包 4,980円(税抜)



公式ブランドサイト

<http://www.otsuka.co.jp/knk/>



オオツカ・プラスワン

<http://www.otsuka-plus1.com/shop/>



※4：アスパラガス由来含プロリン-3-アルキルジケトピペラジン(シクロ(L-ロイシル-L-プロリン)、シクロ(L-フェニルアラニル-L-プロリン)、シクロ(L-チロシル-L-プロリン)として)

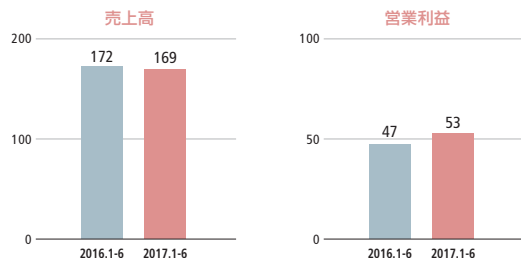


消費者関連事業

Consumer Products Segment

ビタミン炭酸飲料「マッチ」は、積極的なマーケティング戦略や営業活動等によるブランドの活性化に取り組み、販売数量は前年同期並に推移しました。「クリスタルガイザー」を中心とするミネラルウォーターは、通販チャンネルにおける売上減少等により、販売数量は前年同期比で減少しましたが、引き続きユーザー層の拡大に向け、製品価値の訴求を継続しています。

業績推移 (億円)



事業セグメントの「業績推移」の金額はセグメント間の内部売上高が含まれています。



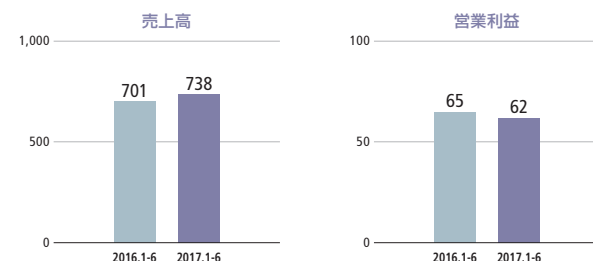
その他の事業

Other Segment

機能化学品分野では、水加ヒドラジンや発泡剤等の販売数量の伸長等により、売上は前年同四半期比で増加しました。ファインケミカル分野では、医薬品原薬及び中間体の販売数量の伸長等により、売上は前年同期比で増加しました。

運輸・倉庫分野では、取扱数量が堅調に推移し、売上は前年同期比で微増となりました。通販サポート事業は、取扱件数の増加や保険事業の契約件数増加等により、前年同期比で増収となりました。

業績推移 (億円)



事業セグメントの「業績推移」の金額はセグメント間の内部売上高が含まれています。

財務情報などのIR情報の詳細については、ウェブサイトよりご覧ください。



IRサイト

<https://www.otsuka.com/jp/ir/>

主なコンテンツ

●IRライブラリー

決算説明会の資料やアニュアルレポートなど最新の情報をご覧ください。

●株式情報

株式に関する基本情報、利益還元方針、株主総会に関する情報などをご覧ください。

その他、当社グループのあゆみやコーポレートガバナンス等、様々な情報をご覧ください。



より働きやすい職場の整備へ

大塚製薬は、優良な健康経営を実践する企業であることが認められ、経済産業省と日本健康会議より「健康経営優良法人～ホワイト500～」として2017年2月に認定されました。また、大鵬薬品は、「子育てサポート企業」として厚生労働大臣の認定(くるみん認定)を受けた企業のうち、より高い水準の取り組みを行っている企業として「プラチナくるみん」の認定を2017年1月に取得しました。大塚グループでは今後も社員が働きやすい環境の整備に努めていきます。



[大塚製薬]



[大鵬薬品]

◎会社概要(2017年6月30日現在)

会社名	大塚ホールディングス株式会社 (Otsuka Holdings Co., Ltd.)
設立	2008年7月8日
資本金	816億90百万円
本店	〒101-0048 東京都千代田区神田司町二丁目9番地
東京本部	〒108-8241 東京都港区港南二丁目16番4号 品川グランドセントラルタワー
グループ会社数	子会社 152社、関連会社 30社

◎株式の状況(2017年6月30日現在)

発行可能株式総数	1,600,000,000株
発行済株式の総数	557,835,617株
株主数	48,078名

◎大株主(2017年6月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
野村信託銀行株式会社 大塚創業家持株会信託口	61,964	11.43
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	32,211	5.94
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	23,444	4.32
大塚エステート有限公司	23,281	4.29
大塚グループ従業員持株会	13,570	2.50
株式会社阿波銀行	10,970	2.02
STATE STREET BANK WEST CLIENT – TREATY 505234	8,614	1.58
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	8,292	1.53
大塚アセット株式会社	7,380	1.36
GOLDMAN,SACHS& CO.REG	7,005	1.29

(注)持株比率は自己株式(15,986,511株)を控除して計算しています。

◎株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
基準日	定時株主総会・期末配当金 12月31日 中間配当金 6月30日
定時株主総会	毎年3月
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
公告方法	電子公告 公告掲載アドレス http://www.otsuka.com/ (ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。)

◎株主優待について

対象となる株主様	毎年12月31日現在の株主名簿に記録された100株(1単元)以上の当社株式を保有する株主様
ご優待の内容	3,000円相当の当社グループ製品
ご送付時期	4月中旬から順次ご送付予定

◎株式に関する手続きについて

株式に関する各種手続きにつきましては、ご所有の株式が記録されている口座(証券会社等の口座・特別口座)によって窓口が異なりますので、ご注意ください。

お手続き・ ご照会の内容	特別口座に 記録された株式	証券会社等の口座に 記録された株式
単元未満株式の買取・買増請求 届出住所・氏名等の変更 配当金の受領方法・振込先の変更	特別口座の口座 管理機関である 「三菱UFJ信託 銀行株式会社」 にお問い合わせ ください。	口座を開設されてい る証券会社等にお問 い合わせください。
特別口座の残高照会 特別口座から一般口座への振替請求	—	—
郵便物の発送・返戻に関するご照会 未払い配当金に関するご照会 その他株式事務手続きに関する一般的なご照会	株主名簿管理人である「三菱UFJ信託銀行株式会社」にお問い合わせください。	—

大塚ホールディングス株式会社

詳しい内容は、ウェブサイトをご覧ください

<https://www.otsuka.com/>

